

広報クイズ



広報クイズに応募していただいた中から、舞鶴の特産品やお土産などを抽選でプレゼントします。問題の○に当てはまる文字や数字をお答えください。ヒントは紙面の中に。

- **問題1** 舞鶴港へはマイカーでラクラク!「ドライブ&OOOO」
- **問題2** 舞鶴〇〇グルメキャンペーンを実施中
- **問題3** ○月〇〇日から市税の申告受け付けが始まります

広報まいづるアンケート

◆「広報まいづる」について、あなたの満足度は、次の①～④のうちどれですか?
 ①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満
 ◆舞鶴市の良いところや好きなことを何でもご記入ください。

応募方法

「はがき」か「電子メール」に①クイズの答え②広報まいづるアンケート③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報紙や市政へのご意見などを記入し、2月27日(月)(消印有効)までに広報広聴課へ。
 ※応募は1人1通。当選者は全問正解者の中から抽選のうえ決定。発表は発送をもって代えさせていただきます。お寄せいただいた感想、ご意見は広報紙に掲載することがあります。

◆はがき 〒625-8555(住所不要) 舞鶴市役所広報広聴課あて
 ◆電子メール info@post.city.maizuru.kyoto.jp (標題は「広報クイズ」で)

【1月号の答え】
 ①志 ②ロケ
 ③27

2月号プレゼント 「ささかれい」(10枚入り)を5名様に。



舞鶴で水揚げされた「ささかれい」は、弱火で焼くと、とっても上品な味です。当組合では舞鶴の水産物を注文できるサイト「舞鶴直行便」(http://www.maisui.jp/)でも販売しています。

提供:舞鶴水産流通協同組合
 (市内下安久1013、☎0773-75-3275)

叙勲、大臣表彰、 全国大会等出場者を紹介

高齢者叙勲

◆瑞宝双光章

- 岡山恭治 (丹波)
元福知山市立佐賀小学校長
- 瀬野研三 (南田辺)
元舞鶴市立丸山小学校長



(1月1日発令)

総務大臣表彰

◆統計功績者表彰

浅奥尚司 (安岡)

長年の統計調査員としての業績が評価されました。

全国大会出場おめでとう

☆全国小学生ソフトテニス大会

(3月29日～31日、千葉県)

- 加藤七菜 (三笠小5年) 高瀬美侑 (倉梯小5年)
- 谷口新紗 (高野小5年) 三方晴楓 (余内小5年)
- 津田柚翔 (倉梯小3年) 前心之助 (三笠小2年)



(以上敬称略)

「広報クイズ」プレゼント提供者の募集

「広報クイズ」のプレゼントを提供していただけるお店を募集しています。多数の読者から応募をいただく好評なコーナーで、こだわりの品を広報まいづるに掲載し、市民だけでなく多くの人にPRしてみませんか。

【応募条件】

- ◆舞鶴産の農水産物か、それを原料とする製造・加工品など
- ◆舞鶴のお土産品
- ◆市の文化振興に寄与するもの
- ◆賞品を5個程度提供できる



【対象】

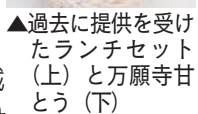
- ◆市内在住の個人か市内に店舗、工場、事業所、事務所などを有する事業者
- ◆市内の社会福祉施設か関連施設

【その他】

賞品や金額、個数、広報紙への掲載時期などについては個別に相談を受け付け。

【問い合わせ先】

電話か電子メールで広報広聴課 (☎66・1041) へ。



▲過去に提供を受けたランチセット(上)と万願寺甘とう(下)

お詫び

広報まいづる1月号の22頁全国大会等出場者を紹介の名前の漢字に誤りがありました。正しくは、「岸口輝美さん」。訂正してお詫びします。

舞鶴大好き!!



舞鶴っ子 No.4

縄文時代からの 交易の歴史



天然の良港として多くの船が利用する舞鶴港ですが、そのルーツは縄文時代にさかのぼり、大昔から舞鶴に住んでおられたわいらの祖先が海を渡って遠く離れた地域とも交易(物品と物品との交換)を行っていたことは今では定説となつておる。そしてその交易には丸太をくり抜いた丸木舟を使っていたことが明らかになっていきました。現在、赤れんがパーク2号棟の2階で展示されておる舞鶴で発見された丸木舟は、今から約5,300年前のもので、平成10年に舞鶴湾口にある浦入遺跡から出土したもんなんじや。出土地点が日本海とつながる浦入湾から発見されたことから外洋を航海するものとして国内で最古の時代の大型丸木舟と考えられておる。



▲出土した丸木舟とアクセサリ

の砂層から発見されたんじや。こんな浅い場所に縄文時代のモノが埋まっているとはのお。舟が発見された地層からは縄文時代前期の土器片も出土しておる。出土した丸木舟は杉をくり抜いたしぎ形で、船首部分は腐って無くなつておりましたが船尾の4〜6段部分が残っており、幅は約1.5mもあつたんじや。木の表面には舟を作る際に焼いて焦がした跡もあつたそうじや。幅から復元すると全長8mを超えるものになつたんじや。現在の船と比較すると小さく感じるが、他の



▲隠岐(島根県)や富山湾まで航海したといわれる



▲浦入遺跡の位置

地域で出土した丸木舟の大きさが約6m前後のものが多いことからすると当時としては大型船であつたと考えられておる。丸木舟が出土した浦入遺跡では、この舟を使って持ち運ばれたと考えられる富山湾周辺の蛇紋岩(※)で作られた耳飾りや石のおや島根県の隠岐で採れる黒曜石、これは当時、ナイフや矢尻などの石器としてよく



▲丸木舟をこぐ様子を再現



使われていたんじや。他には北陸地方の特徴を持つ土器など、縄文時代の日本海沿岸の港と交易をおこなつた証拠の品々も発見されておる。これらによって日本全国のいろんな地域と「海の道」を通じて交易していたことがわかつたんじや。遠い昔、わいらの祖先が丸木舟ですでに広大な海を旅していたとは、びっくりじや。エンジンもない命を委ねるようなものだったのであろう。いつの時代にも海には人間が持つ知らない土地へのあこがれや冒険をさせる魅力があつたのかもしれないお。

※蛇紋岩…黄緑〜暗緑色で表面に蛇のような紋様があり、装飾石材として用いられる。